

第 23 回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

- | | |
|--------|--|
| 1. 日 時 | 平成 7 年 1 0 月 4 日（水）
1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0 |
| 2. 場 所 | 委員会会議室 |
| 3. 議 題 | (1) 前回議事要旨の確認について
(2) 平成 7 年度における宇宙開発関係の追加経費の見積りに
いて |
| 4. 資 料 | 委 23- 1 第 22 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
委 23- 2 平成 7 年度における宇宙開発関係の追加経費の見積
りについて |

委 23-1

第22回宇宙開発委員会（定例会議） 議事要旨（案）

1. 日時 平成7年9月27日（水）
14:00～14:20
2. 場所 委員会会議室
3. 議題
 - (1) 前回議事要旨の確認について
 - (2) 第2次国際微小重力実験室(IML-2)搭載実験に係る開発結果の評価及びH-IIロケット試験機3号機による静止気象衛星5号(GMS-5)の打上げ結果の評価について
 - (3) J-Iロケット試験機1号機による極超音速飛行実験(HYFLEX)に係る安全の確保に関する調査審議について
4. 資料
 - 委22-1 第21回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 - 委22-2-1 第2次国際微小重力実験室(IML-2)搭載実験に係る開発結果の評価及びH-IIロケット試験機3号機による静止気象衛星5号(GMS-5)の打上げ結果の評価について（宇宙開発委員会技術評価部会報告書概要）
 - 委22-2-2 第2次国際微小重力実験室(IML-2)搭載実験に係る開発結果の評価及びH-IIロケット試験機3号機による静止気象衛星5号(GMS-5)の打上げ結果の評価について（報告）（案）
 - 委22-3 J-Iロケット試験機1号機による極超音速飛行実験(HYFLEX)に係る安全の確保に関する調査審議について（案）

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理

宇宙開発委員会委員

〃

〃

野 村 民 也

山 口 開 生

末 松 安 晴

長 柄 喜一郎

関係省庁

文部大臣官房審議官（学術国際局担当）

郵政大臣官房技術総括審議官

長谷川 正 明（代理）

岡 井 元 〃

事務局

科学技術庁研究開発局長

科学技術庁長官官房審議官

科学技術庁研究開発局宇宙企画課長

加 藤 康 宏

間 宮 馨

林 幸 秀 他

6. 議事

(1) 前回議事要旨の確認について

第21回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（資料委22-1）が確認された。

(2) 第2次国際微小重力実験室(IML-2)搭載実験に係る開発結果の評価及びH-IIロケット試験機3号機による静止気象衛星5号(GMS-5)の打上げ結果の評価について

事務局より、井口技術評価部会部会長のコメントの紹介、また、資料委22-2-1、委22-2-2に基づき技術評価部会報告書の説明があり、了承された。

(3) J-Iロケット試験機1号機による極超音速飛行実験(HYFLEX)に係る安全の確保に関する調査審議について

事務局より、資料委22-3に基づき説明があり、原案どおり決定された。

平成7年度における宇宙開発関係の追加経費の見積りについて（案）

平成7年10月4日

宇宙開発委員会決定

平成7年度において、宇宙往還技術試験機（HOPE-X）の研究促進等を図るため追加経費が必要である。

その必要な追加経費は別表のとおりである。

1. 平成7年度宇宙開発関係経費等総括表

①：国庫債務負担行為限度額
(単位：千円)

省 庁	平成7年度 当初予算額及び 第1次追加経費	平成7年度第2次補正		平成7年度 第2次補正 修正減少額	平成7年度 経 費
		宇宙開発関係	宇宙関連		
科学技術庁	① 98,754,442 184,759,315	① 500,000 11,805,000	0	△ 4,463,184	① 99,254,442 192,101,131
警 察 庁	676,279	0	0	0	676,279
環 境 庁	761,018	0	0	△ 57,077	703,941
文 部 省	① 15,764,450 22,140,056	1,720,000	1,120,825	△ 421,192	① 15,764,450 24,559,689
農林水産省	14,024	0	0	△ 936	13,088
通商産業省	12,754,263	0	0	△ 13,215	12,741,048
運 輸 省	① 18,476,039 12,328,220	0	① 927,000 818,774	△ 1,644,887	① 19,403,039 11,502,107
郵 政 省	11,818,973	0	800,000	△ 111,705	12,507,268
建 設 省	5,982,172	0	1,364,000	△ 111,302	7,234,870
自 治 省	37,297	0	0	△ 2,556	34,741
総 計	① 132,994,931 251,271,617	① 500,000 13,525,000	① 927,000 4,103,599	△ 6,826,054	① 134,421,931 262,074,162

注 宇宙開発委員会が行う見積りの範囲内の宇宙関係経費を「宇宙開発関係」として、範囲外のものを「宇宙関連」として整理した。

2. 平成7年度宇宙開発関係第2次追加経費（宇宙開発委員会が見積りを行うもの）の概要

⑩：国庫債務負担行為限度額
（単位：千円）

省 庁	担当機関	平成7年度 当初予算額及び 第1次追加経費	平成7年度 第2次追加経費	要 旨 追加経費
	事 項			
科 学 技 術 庁	宇宙開発事業団			
	宇宙開発事業団 出資及び助成に 必要な経費	⑩ 96,905,077 180,155,000	⑩ 500,000 11,805,000	（主要な経費） 宇宙往還技術試験機 (HOPE-X)の研究促進 1,638,000 光衛星間通信実験衛星 ⑩ 500,000 (OICETS)の開発促進 1,685,000 宇宙環境を利用した 科学技術活動成果の 産業化の促進 8,422,000
文 部 省	宇宙科学研究所			
	特別事業等に必 要な経費	⑩ 15,764,450 17,540,068	1,720,000	科学衛星研究経費 505,000 大型特別機械整備費 1,215,000

3. 平成7年度宇宙関連第2次追加経費（宇宙開発委員会が行う見積りの範囲外のもの）の概要

④：国庫債務負担行為限度額
（単位：千円）

省 庁	担当機関	平成7年度 当初予算額及び 第1次追加経費	平成7年度 第2次追加経費	要 旨 追加経費	
	事 項				
文 部 省	宇宙科学研究所	4,599,988	1,120,825	一般ロケット観測経費等	361,725
	特別事業等に必要経費			宇宙開発工学研究関係経費	70,000
				大型特別機械整備費	689,100
運 輸 省	気象庁	0	④ 927,000 818,774	業務整備費	④ 927,000 818,774
	静止気象衛星施設費				
郵 政 省	通信総合研究所	10,034,093	800,000	日・亜・欧高速衛星通信共同実験施設の整備	800,000
	GII構築に向けた情報通信国際共同研究施設の整備				
建 設 省	国土地理院	4,380,000	1,364,000	GPS連続観測施設整備	1,364,000
	国土地理院施設整備に必要な経費				

平成7年度における宇宙開発関係の追加経費の見積りについて
(第2次補正追加予算の概要)

平成7年10月4日
科学技術庁

(単位：百万円)

省 庁	補正予算	補 正 予 算 の 概 要	機 関
科学技術庁	① 500 11,805	・ 宇宙往還技術試験機(HOPE-X)の研究促進 ・ 光衛星間通信実験衛星(OICETS)の開発促進 ・ 宇宙ステーションの開発促進	宇宙開発事業団
文 部 省	2,841	・ 科学衛星等の製作加速等(第16、17、19号科学衛星関係) ・ 最先端設備整備による科学衛星研究の加速	宇宙科学研究所
運 輸 省	① 927 819	・ 静止気象衛星施設の整備	気象庁
郵 政 省	800	・ 日・亜・欧高速衛星通信共同実験施設の整備	通信総合研究所
建 設 省	1,364	・ G P S 連続観測施設整備	国土地理院
総 計	① 1,427 17,629		